19日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

母 公開実用新案公報(U)

昭63-65279

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和63年(1988)4月30日

H 05 K 5/02 B 26 B 19/38 P-7342-5F A-6634-3C

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称

小型電気機器の本体ケース

②実 願 昭61-160365

❷出 願 昭61(1986)10月20日

砂考 案 者 三 谷 康 夫 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

⑪出 願 人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

⑩代 理 人 弁理士 西野 卓嗣 外1名

1.考案の名称

小型電気機器の本体ケース

- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (1) 両側を円弧状にした偏平形状簡体の円弧状部分に該筒体の長手方向に沿って突条を形成し、該突条の前記筒体表面からの突出寸法と同一の厚み寸法を有する一対の弾性板材を該筒体の表面に接着固定すると共に、前記弾性板材の両側線部を前記突条側面に形成せる嵌合溝内に嵌入固定することを特徴とする小型電気機器の本体ケース。
- 3 . 考案の詳細な説明
 - (イ) 産業上の利用分野

本考案は水洗い可能な電気かみそり等の小型電気機器の本体ケースに係り、その本体ケース表面の滑り止め処理構造に関するものである。

(ロ) 従来の技術

機器のケースに表面処理を施し、握り易さや軟 鼠し易さを考慮したものに特公昭61-1383

公開実用 昭和 3-65279

(ハ) 考案が解決しようとする問題点

本考案が解決しようとする問題点は本体ケースの防水性を破壊することなく本体ケース表面に滑り止め処理を従来の2色成形のような難しい技術を使わずに安価な方法で施すことである。

(二) 問題点を解決するための手段

両側を円弧状にした偏平形状筒体の円弧状部分に該筒体の長手方向に沿って突条を形成し、該突

8()()

条の前記筒体表面からの突出寸法と同一厚みの寸法を有する一対の弾性板材を該筒体の表面に接着固定すると共に、前記弾性板材の両側縁部を前記突条側面に形成せる嵌合溝内に嵌入固定する。

(ホ) 作用

本体ケースの表面に接着された弾性板材はその 厚み寸法が突条の突出寸法と同じであるから本体 ケースに融合し且つ機器の使用者にはソフトな手 ざわりと強固な把持力を与える。

(へ) 実施例

以下本考案を防水型電気かみそりの本体ケースを例にとって図面に沿って詳細に説明する。但し本体ケース内部の構成部品及び該本体ケースに装着されるシェービング部の構成部品については周知であるので図面では省略し且つ説明も省く。

第1図において(1)はABS樹脂を繋材として モールド成形されてなる偏平形状簡体であり、防水型電気かみそりの本体ケースとして機能を成し、前面(1 a)の上半分に図示しない主剃刃部や さわぞり刃部の操作摘み等の取付凹所(2)を形成

公開実用 昭 63-65279

すると共に、下端面は関口端部(1 b)と成されてこの側口端部(1 b)を介して図示しない電池、モータ等の内部構成部品が収納されるようになっている。前配筒体(1)の両側円弧状部分(3 a)(3 b)にはその頂部付近より外方へ向かって一体に突条(4)(5)が突出形成され、該突条(4)(5)の各側面には嵌合溝(4 a)(4 b)、(5 a)(5 b)が夫々設けられて断面きのこ形状の突条とされる。また前配開口端部(1)の前配突条(4)(5)と対応する面に内向きの突部(6)(7)が形成されている。前記開口端部(1 b)はこれらネジ穴(8)(9)が形成されている。前記開口端部(1 b)はこれらネジ穴(8)(9)を介して図示しないネジにより装着される図示しない底蓋部材によって液密的にシールされて覆蓋される。

(10)(11)はゴム製の弾性板材であり、各板材(10)(11)の両側級部には嵌合片(10a)(10b)…、(11a)(11b)…が一体形成されている。一方の弾性板材(10)には凹状の切欠き(12)が形成されており、この切欠き(12)は該弾性板材(10)の前記筒体

(1)の前面(1 a)への接着時に該前面(1 a)の取付凹所(2)に合致する前記弾性板材(10)(11)の前記簡体(1)への接着時において該弾性板材(10)(11)はその平板状態から両側を該簡体(1)の円弧状部分(3 a)(3 b)に沿って折り曲げられ、弾性板材(10)(11)の両側縁部を前記突条(4)(5)に設けた篏合溝(4 a)(4 b)、(5 a)(5 b)に嵌合素(4 a)(4 b)、(5 a)(11 b)…は前記嵌合溝(4 a)(4 b)、(5 a)(11 b)…は前記嵌合溝(4 a)(4 b)、(5 a)(5 b)の奥に複数箇所形成してなる更に奥深い回程部(図示せず)内に嵌入され、こうして仮に前記6体(1)に係着された弾性板材(10)(11)はその内面に接着される。

第2図に示すように前記突条(4)(5)の前記筒体(1)表面からの突出寸法と前記弾性板材(10)(11)の厚み寸法とは略同一(t)である。従って前記筒体(1)の円弧状部分(3 a)(3 b)において前記突条(4)(5)と前記弾性板材(10)(11)との表面は面一とされている。

ä

尚前記弾性板材(10)(11)の表面にその長手方向に複数の凹条を形成してやれば、凹状のないものに比べて高り止めの効果は大きく、且つ简体(1)の形状に合わせて折曲し易いものとなることは言うまでもない。

(ト) 考案の効果

材の側縁は突条の嵌合溝に嵌入されるため両者の つぎ目が目立たず機器の英観を損うことなく、且 つ両者間に段差がないため把持時の引っ掛かりが 解消できるという効果がある。

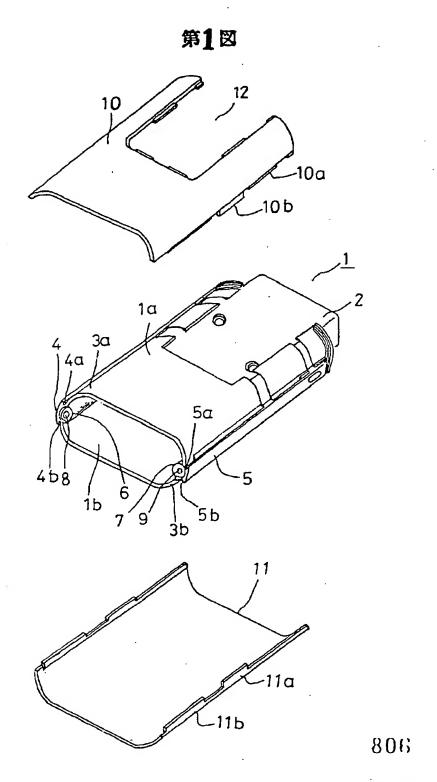
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案小型電気機器の本体ケースの分解斜視図、第2図は第1図に示す部品の組立状態を示す断面図である。

(1)…简体、(3 a)(3 b)…円弧状部分、(4)(5)…突条、(10)(11)…弹性板材、(4 a) (4 b)(5 a)(5 b)…嵌合牌。

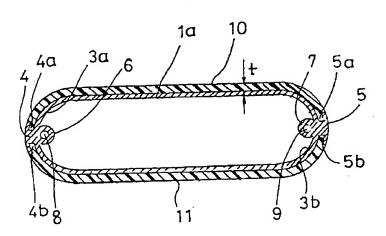
> 出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西野阜嗣(外1名)

公開実用 昭 163-65279



出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西野卓嗣(外1名)

第2図



÷

807

出頭人 三洋電機株式会社 5279 代理人 介理士 西野卓嗣 (外1名)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER: _____

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.